

<株式会社エフエム東京 第341回放送番組審議会>

1. 開催年月日：平成19年6月5日（火）
2. 開催場所：エフエム東京 本社10階大会議室
3. 委員の出席：委員総数7名（社外7名 社内0名）

◇出席委員（7名）

子安美知子	委員長	青池慎一	副委員長
内木文英	委員	横森美奈子	委員
渡辺貞夫	委員	内館牧子	委員
香山リカ	委員		

4. 議題

(1) 最近の活動について

(2) 番組試聴：「ASAHI SUPER DRY MUSIC FLAG」

2007年4月29日（日）15:00～15:55放送分

<試聴時間：約20分ダイジェスト>

<<議事内容>>

議題1：最近の活動について

◎新音楽サイト「music4u」について

TOKYO FMをはじめとするJFN（全国FM放送協議会加盟38局）は、5月22日（火）より、新音楽サイト『music4u(ミュージック・フォー・ユー)』(<http://www.m4u.jp/>)をオープンいたしました。これは、JFN各局のオリジナル音楽関連Webコンテンツを集結させた音楽コンテンツ群です。

FMラジオ局の強みは、どこよりも早く、どこよりも詳しい音楽情報が集まっているということ。しかも、ここ数年は地方から生まれる人気アーティスト、人気楽曲も多く、各FMラジオ局がそうした情報の発信源となっています。

この『music4u』では、北海道から沖縄まで全国38局のネットワークを駆使し、各局の番組連動コンテンツはもちろん、地元アーティストのとおき情報、『music4u』Webスタッフの独自取材によって得られた情報を展開。新たな音楽

との出会いの場として幅広い音楽ファンに支持される音楽Webサイトを目指します。

◎メジャーリーグ情報「SAMURAI in The Ballpark」について

総勢13名の日本人選手が世界最高峰のメジャーリーグでプレーする2007年。松坂 vs イチローの初対決は朝8時すぎという時間にも関わらず15.4%という高視聴率をマークし、世間の関心の高さを伺わせました。

そこでTOKYO FMでは5分間の情報番組「SAMURAI in The Ballpark」（毎週月～金曜10時55分）を5月28日（月）より、スタートしました。

日本人選手が所属チームや地元ファン、地元メディアに及ぼしている影響や、彼らの活躍によって生まれつつある社会的なムーブメントに注目し、日本ではあまり知られていない“COOL JAPAN”旋風に迫ります。

毎日、TOKYO FM AT NEWYORKの独自取材に基づく、単なる試合結果に留まらない日本人メジャーリーガー関連情報をお届けしています。

◎JET STREAM 40周年企画について

当社の看板番組「JET STREAM」は、来る7月3日（火）で放送40周年を迎えます。これを記念して、下記の特別企画を実施致します。

- ① 海外旅行が憧れであった時代の1967年にスタートして以来40年、海外旅行が非常に身近になった現代。それでもなお憧れや夢を抱かせる海外旅行の魅力や愉しみ方について、各界の旅のエキスパート達（沢木耕太郎、村上 隆、岩合光昭等）が、自らの人生に影響を与えた旅のエピソードや、今も夢見る旅について語るサウンド・エッセイをレギュラー番組の特別企画として40周年当日に向けて展開。（6月18日～7月2日）
- ② ①に合わせてリスナーからいつか実現してみたい「夢の旅」エッセイを募集。最優秀作は特別番組内でスクリプト化して放送し、世界一周航空券をプレゼント。
- ③ 7月3日当日は放送時間を1時間拡大し特別番組を編成。40年間番組が発信してきた旅の魅力と音楽を、各年代ごとに、それを代表する旅のエキスパート達の証言で綴ります。この特別番組へ向けて当日の他の全ワイドプログラムで40周年ヒストリー企画を行い特別番組へ繋げていく。
- ④ 40周年を記念して企画した、ウィーンのニューイヤークンサートで有名な楽友協会大ホールで第九を歌う「国境なき合唱団」チャリティコンサートに参加

加するツアー企画を年末に向けて募集を開始します。
以上の展開を「JET STREAM」を支え続けて頂いたリスナーへの感謝の想いを込めて実施して参ります。

議題2：番組試聴

【番組名】「ASAHI SUPER DRY MUSIC FLAG」

【放送日時】2007年4月29日（日）15:00～15:55 放送分

【番組概要】

アーティストにとってのターニングポイントとなった一曲、そこには、人と人の出会い、苦悩、そして、挑戦、達成、と様々なドラマが存在しています。そんな彼らのストーリーを毎回、紹介していきます。

番組では、毎週、1アーティストをピックアップ。そのアーティストの代表的な楽曲に焦点をあて、ドキュメントタッチでロングインタビューを敢行。アーティストの“声”とナレーターによるリアルストーリーが一本の「MUSIC FLAG」として掲げられる、音楽ドキュメンタリー番組です。

番組をナビゲートするナレーターは、特集アーティストごとに人選。登場するのは、そのアーティストをリスペクトするアーティストや女優、俳優陣。

「リスナーとして感動し・励まされ・インスパイアされた彼等」が、インタビュー内容に触れ、“読み手”として、リアルストーリーを紡いでいきます。

そのリアルストーリーの中でかかる「あの曲」を、CD以上の説得力でリスナーのところに伝えていきます。

●4月29日放送分

<特集アーティスト：サンボマスター × ナレーター：佐野元春>

二組は、あるロックフェスでサンボマスターの山口が佐野にツアーでの共演をお願いする形で知り合い、世代を超えたロックンロールミュージシャンのコラボレーションを表現しました。

インタビューは、サンボマスターのインディーズ時代の苦労話からメジャーデビュー、「世界はそれを愛と呼ぶんだぜ」の大ヒット、そして、最新シングル「I LOVE YOU」に込めた想いをクライマックスとしています。

<試聴時間：約20分ダイジェスト>

【委員の意見および社側説明】

(「○」委員意見／「■」社側説明)

- ナレーションの語りと音楽のバランスが難しいと思った。ターゲットはM1・F1層なのでこれでいいのかもしれないが、大人が聴くと、ずっと聴くのは難しいと感じた。佐野元春さんのナレーションも、原稿を読んでいる感じになってしまっていて、“リアルストーリーを紡ぐ”という番組コンセプトにいたるところまではいけていないような気がする。
- 番組を続けていく中で、どういうコンセプトで進めていくのか、全体として何を伝えようとしているのかを、一貫させた方がいいのではと思う。番組概要の説明にあるコンセプトと今回試聴した回には、ズレを感じた。その回のアーティストごとに聴くか聴かないかを聴き手に判断させる必要があり、それは無理があるのではないかと思う。
- 自分の心には届いてくる言葉ではなかった。このような番組では、聴き手の心にきちんと届いていかないのではないかと思う。
- あまり好きでないタイプの番組。例えば、サンボマスターではなく佐野元春を特集アーティストにするなど、もう少し大物のアーティストを取り上げた方がよいのではないかと思った。
- ビックな人が語り手に回っているという逆の発想がかえって面白いと思った。荒々しい未完成のバンドと、オトナのロックアーティストの組み合わせという点も面白かった。ただ、サンボマスターが断片的に登場して、佐野さんがメインで語るのかと思ったら、サンボマスターの山口さんの語りがメインだったので、そのバランスをもう少し工夫した方がよかったのではないか。アーティストの裏側を知ることができるのはとても興味深いことなので、頑張っ欲しい。

- 2組の組み合わせは面白かった。が、どちらがメインなのかわかりにくかったり、佐野さんがインタビュアーになっているのかと聴き違ってしまったたり、構成がわかりにくかったので、シンプルに対談などでもよいかと思った。

- もう少し、アーティストの個人史的な内容かと思ったが、期待したものではなかった。大真面目なインタビューだなあと感じたし、サンボマスターの山口さんが「あえて皆が言わなくなってしまったことこそ声を大にして言う」と言っていたのも、我々の世代にとってはよく思うことであり、目新しいことではない。しかし、若者にはそれが新鮮に感じるのだろう。もっと若いリスナーがどう受け止めているのかを聞いてみたい気がした。

5. 放送番組審議会の内容について

審議会の意見は、放送番組審議会事務局から各担当部長に伝達した。

6. 公表

議事内容を以下の方法で公表した。

- ① 放送：番組「Heart Sharing」
6月24日（日） 6：00～8：30放送
- ② 書面：TOKYO FM サービスセンターに据え置き
- ③ インターネット：TOKYO FMホームページ内 <http://www.tfm.co.jp>

7. その他

次回審議会は9月4日（火）に開催することを決めた。

以上